

壁の素材

ポイントは、凹凸のある素材を選ぶこと

デザインウォール、ウッドウォール、ウッドパネル、タイル壁装材などのワードで画像検索してみてください。光の存在を隠し、素材にフォーカスするのが、「王道」の照明設計。どの位置に照明を仕込むと、素材の表情がどう変わるかを検証することが出来れば、素材選びがもつと楽しくなります。そして、光選びはとても重要な工程であると認識するはず。

照明の施工例写真は沢山あるが、素材に言及した事例は意外と少ない。しかし、素材選びに拘ることで、劇的に空間の印象が変わります。そしてこの素材に光をあてることで、奥行き感、素材感、陰影、昼と夜の顔が生まれ、これらが相まって「高級感」「グレードの高い空間」「人に印象を与える空間」「感情を揺さぶる空間」に変化します。すなわち、素材選びと光はセットで考えると良いでしょう。



【凹凸素材と相性が良いひかり】

【光ムラの有効性】

あえて光の「ムラ」を作り、素材の表情を光と共に演出するのも手法のひとつ。光の当たっているとそうでないところをあえて見せる。これにより、「光の使い方が上手ね」と印象付けることが出来ます。

暮らしに
あか
り
灯
を
ラス
プラス

灯りコラム
Vol.44



遠くからでもリズム感を与えて視覚的に目に留まりますから、広い空間に使われることが多い照明手法。

ダウンライトを使うので、①壁からの距離、②配光、③配灯ピッチ、④グレア、⑤色温度の5項目を考慮して器具選定し、光の強さを考える場合は調光スイッチで対応すればよいでしょう。

予算がなければ、ダウンライト1灯だけの範囲でも空間に華を添えるインテリアが出来上がります。

壁の素材を選ぶ。そして、そこにひかりをあてる。

是非、試してみてください。

株式会社灯り計画

照明計画を切り口に暮らしの提案の幅を広げてみませんか？
インテリアを引き立てる照明術。豊かな暮らしには、照明の効果や演出が必須アイテム。
こだわりの場所やちよつと自慢の場所のインテリアに灯りのスパイスを効かせた提案をしてみたいかがでしょうか。

info@design-akari.com
Tel : 04-7196-7142